

北野三本松 北野町2丁目



この地は昔、すぐ北の東西に走る道の峠にあたり、三本の松が遠くからの目印となり、旅人や付近の人の憩いの場となっていた。明治の頃、三本そろっていた松の老木も、大正時代の初め頃、この地が外国人の宅地の中に入ってしまう、じゃまになるとして一本の松が切られてしまった。その後、1932（昭和7）年に台風で二本目が倒れ、最後の一本も倒れる危険があったため、1938（昭和13）年に伐採されてしまった。現在では松の切り株が残されており、今なお、その地を北野三本松と呼び、その場に石の不動明王像が安置されている。なお、二本目の松が倒れた時、この小さな丘が南に開口した横穴式石室をもつ古墳であることが、偶然にもわかったのである。この古墳は三本松古墳と呼ばれている。

場所：中央区北野町2-3

◆「松蔭女子学院発祥の地」の碑（北野町2丁目）

灘区にある神戸松蔭女子学院大学の発祥の場所、北野三本松入口付近に「松蔭女子学院発祥の地」碑がある。1892（明治25）年に、英国聖公会の宣教師達によって設立された松蔭女子学院は、当初、この三本松のすぐ近くにまなびやを持っていた。校舎が三本松の蔭に隠れることから「松蔭」の名を付けたと言われている。



出典：「神戸歴史トリップ」道谷 卓 著